

2018年1月28日 猪高緑地 自然観察会より(文責・撮影 自然観察G 森川)
寒波到来の中、10名の参加で活動しました。少し個人的な偏った報告かもしれませんがご容赦ください。冬は野鳥観察が見どころですが、近年猪高緑地では、めっきり少なくなっていて、姿どころか鳴き声も聞けなくなってきました。

そんな中、塚の杣池に数は少ないですが、多種多様な水鳥がいて吃驚!!!



オカヨシガモ オオバン ヒドリガモ カンムリカイツブリ ヨシガモ ホシハジロ ダイサギ
(別日には通称パンダガモのミコアイサも雌雄で来ていました…)

里山ではミツマタとソシンロウバイの蕾、雨も降らない寒波の中でアカガエルの卵塊はまだありませんでした。池の一部は氷が張り雪も積もっています。キセキレイが雪や氷の上を楽しそうに歩いていた。



枕木道を通りぬけ三角池からアーチェリー場へ移動します。シダ・コケ・地



衣類もこの時期は観察ポイントのようですが、同定が難しすぎて…

コウヤボウキ コケ サクがたくさん… 地衣類 ハナゴケ科… コケ サクはまだ

※ 蒴 ^{さく} コケ植物の孢子囊。熟すと孢子を放散させます



トラツグミが林へ入る姿が見えました。後日同じ場所にトラちゃんが…トラツグミは、地味な色で警戒心も強いので見たことがない人もいると思いますが、記紀にも登場する日本古来からいる冬鳥です。今年も会えて嬉しかったです。

締めはカラスザンショウほかの冬芽・葉痕です。色々な顔が並んでいました。



2月の観察会ではオタマジャクシに会えるかも？北へ帰る野鳥にも会いたいですね。